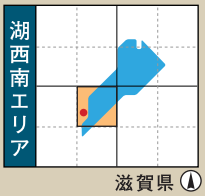
史跡
国指定

皇子山古墳（おうじやまこふん）

大津市錦織一丁目　昭和49年12月9日指定



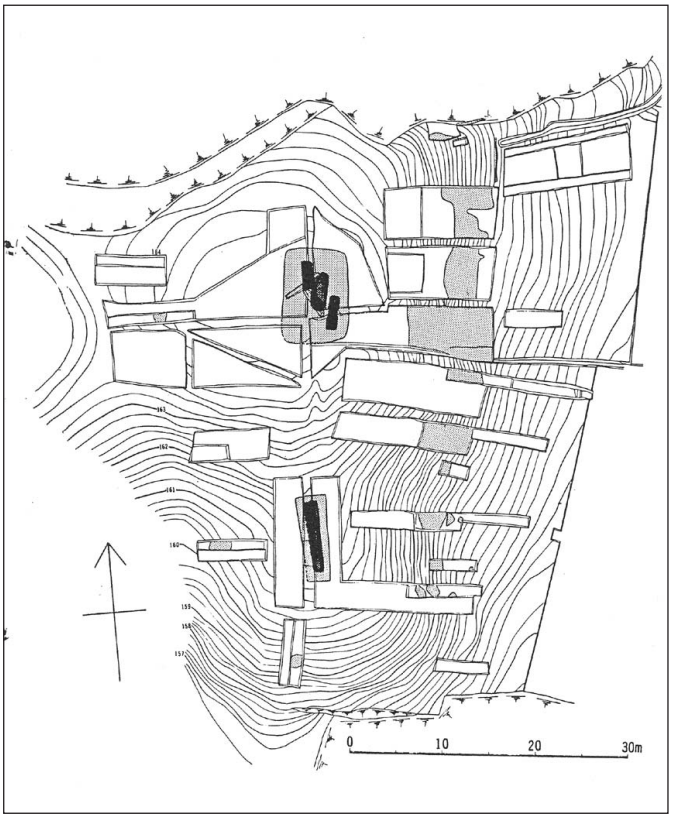
大津宮を見下ろす丘陵上に築造された皇子山古墳は、交通路を掌握した有力者によって、4世紀後半に築造されたものと考えられます。前方後方墳という形から、この被葬者達は、大和とは一線を画していた可能性があり、この時代における政治勢力の様子を考える上で重要な古墳です。

当時のできごと	
266年	倭の女王 中国に使を出す
364年	百済人 倭との通交を求める
391年	倭軍 百済・新羅を攻める

古墳の構造

2基の古墳が史跡に指定されています。1号墳は全長が約60mの大型前方後方墳で、山を削りだして造られています。特に琵琶湖に面した部分を丁寧に造り、葺石を貼ります。これは、琵琶湖やふもとから見上げられることを意識した造りです。埋葬施設の本格的な調査は行われていませんが、後方部にこの古墳の築造者と考えられる人物の、10m×7mの大きな墓坑と、これに重なり3基の墓坑が、前方部からは、もう1基の墓坑と粘土槨が見つかっており、短期間に5人が葬られたことがわかります。この古墳の築造の時期は、出土した土器の形態から、4世紀の後半頃と考えられます。

2号墳は、丘陵斜面に造られた直径が約20mの円墳で、1号墳と相前後した時期に、密接な関係にある人により造られたと考えられます。



1号墳測量図

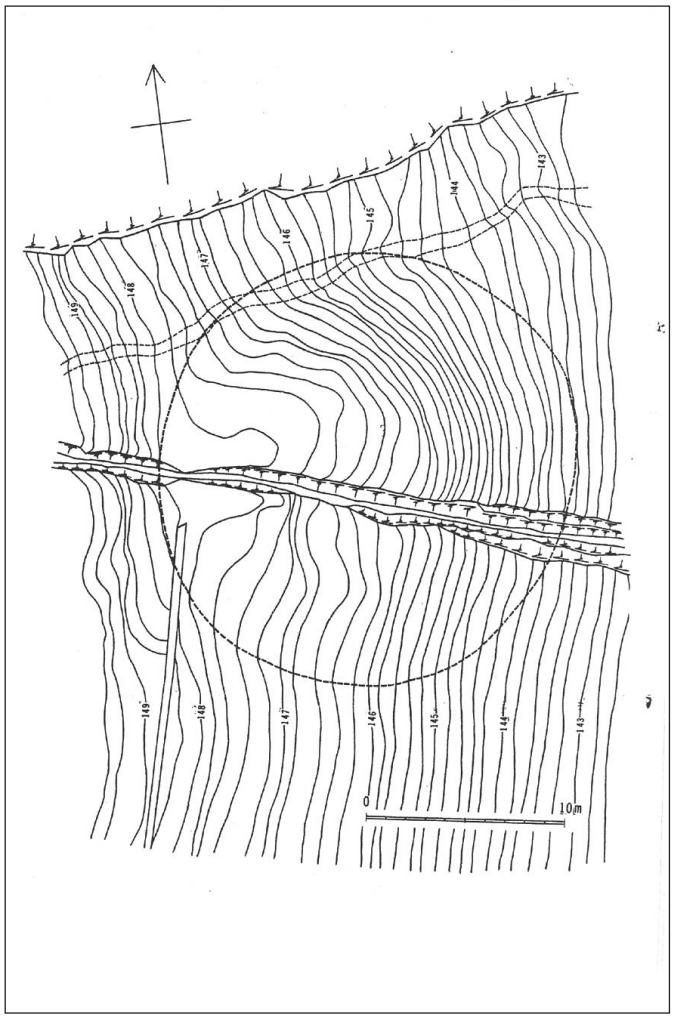

1号墳遠景（南東より）


1号墳全景（南より）


1号墳全景（東より）

前方後方墳

大和（奈良）を中心とした勢力が築いた古墳が前方後円墳で、これとは異なる勢力が築造した古墳が前方後方墳ともいわれています。皇子山古墳が調査された昭和45年（1970）当時には、この古墳が4世紀後半代の滋賀県でも最古級の古墳とされていましたが、近年の調査により、神郷亀塚古墳（学習シートNo.075）、小松古墳（学習シートNo.037）など、3世紀にさかのぼる前方後方墳が次々に発見され、皇子山古墳の古墳時代における位置付けについても、様々な考えが出されるようになってきています。



2号墳測量図



発掘調査時の状況



2号墳

関連する文化財

熊野本古墳群（新旭町）	湖西最大の古墳群。最古級の前方後方墳である熊野本六号墳を含む
神郷亀塚古墳（能登川町）	学習シートNo.075
古保利古墳群（高月町）	学習シートNo.037

もっと深く知りたい

大津市歴史博物館	☎077-521-2100	大津市御陵町2-2
大津市埋蔵文化財調査センター	☎077-527-1170	大津市滋賀里1-17-23
安土城考古博物館	☎0748-46-2424	蒲生郡安土町下豊浦6678

皇子山古墳へのアクセス

JR湖西線　西大津駅下車
京阪電鉄石坂線　皇子山駅下車



【参考文献】〔図説日本の史跡〕同朋舎　〔近江の遺跡〕（財）滋賀県文化財保護協会　〔大津の文化財〕大津市教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月